

施策評価シート（平成28年度実施分）

基本姿勢	1	安心で魅力ある「定住のしま」 ～分野2 人を大切に、人を守るまちづくり～
政 策	2	協力し支え合う福祉の地域づくり
基本方針	地域が一体となって地域福祉の課題を解決していくための施策を進め、住み慣れた地域で、安全に安心して暮らしていける地域住民の相互扶助を基本とした地域社会の形成に努めます。	

基本施策	1-2-2-①	安心できる地域福祉の環境づくり		
主管課名	福祉長寿課	所属長名	萬 屋 三 男	
関係課名				
	基本施策の評価			
	○介護保険事業計画、老人福祉計画、障がい者福祉計画の策定及び定期的な見直し			
	■平成27年度における課題等に対する取組方針			
	引き続き、介護保険事業計画作成委員会及び障がい者総合支援協議会において、次期計画策定に向け検証しながら見直しを進めていく。			
	■平成28年度の取組概要			
	・介護保険事業計画作成委員会を2回（H29.1、H29.3）開催し、第6期介護保険事業計画の進捗状況及び新しい介護予防・日常生活支援総合事業について協議を行った。また、障がい者総合支援協議会を2回（H28.10、H29.3）開催し、第4期障がい者福祉計画の進捗状況及び次期障がい者福祉計画の策定について協議を行った。			
	■評価（問題点とその要因）			
	・介護保険事業計画作成委員会は、第6期計画の進捗の説明に留まってしまい、障がい者総合支援協議会においては、計画の進捗状況で、サービスの提供量等数値での検証は行えているが、実際の活動に関する検証、それに伴う制度の見直しは行えていない。			
	■今後の取組方針			
	・平成29年度に第7期介護保険事業計画及び第3期障がい者福祉計画の策定年度であることから、実効的な体制を構築し計画の策定に取り組む。			
	○社会福祉協議会との連携強化、ボランティアの意義や重要性、実際の取り組みに関する情報発信、ボランティア意識高揚			
	■平成27年度における課題等に対する取組方針			
	・地域福祉活動への参画を促すため、参加機会の提供の充実に努めるとともに、社会福祉協議会を中心に、各関係機関等とのネットワーク化を図り、総合的な相談支援体制の強化や情報提供の充実に図っていく。			
	■平成28年度の取組概要			
	・社会福祉協議会が中心となり、地域課題の把握に基づき、地域が必要とする事業創世に向けた支援に努めている。また、現在地域や住民が抱えている相談に対して、各関係機関等と連携をとり情報共有を図りながら、状況改善に努めている。			
	■評価（問題点とその要因）			
	・支え手となる年代の減少が今後さらに低下していくことで、ボランティア等地域の支援者となる人材確保が困難になりつつある。地域課題への対応を担える人材の確保、支える体制づくりが必要である。			
	■今後の取組方針			
	・地域を担うボランティア人材への研修を行うとともに、困難な課題への対応に向けた協議の機会を設けていく。			

○地域住民との協働による、一人暮らし高齢者や高齢者世帯、障がいのある人の見守り活動の推進

■平成27年度における課題等に対する取組方針

・高齢者見守りネットワーク事業は、高齢者等の生活の安否確認等、安心安全なまちづくりのためにも継続して行っていく必要であるため、全町における地域の実情に応じた高齢者の見守り体制のあり方について、地区役員会等での事業説明を積極的に行い、意識醸成を図りながら幅広い活用を目指していく。

■平成28年度 of 取組概要

・地域住民等のネットワークにより在宅の一人暮らしの高齢者等を見守り、当該高齢者等が地域から孤立することを防止するとともに、その異変を早期に発見して必要な援助を行うための事業として、高齢者見守りネットワーク事業を行っている。

■評価（問題点とその要因）

・高齢者見守りネットワーク事業のほかにも、民生委員の方々が行っている自主的な見守り活動、生活支援コーディネーター業務での見守りなど、複数の活動が散見される。また、活動等のPR不足により、事業に対する認知度・理解度が低い。

■今後の取組方針

・地域の実情に応じた高齢者の見守り体制のあり方について継続して支援を行うとともに、認知度の向上にむけ、町広報誌に加え、地区役員会、民生委員高齢者部会等での事業説明を積極的に行い、意識醸成を図っていく。

○あらゆる学習機会を通じた相互扶助意識の啓発、地域で子どもを育てるという気運醸成

■平成27年度における課題等に対する取組方針

・住民が抱える地域の暮らしの様々な困りごとに対して、地域住民全体のネットワークにより、身近な地域単位で解決できる仕組みづくりを進め、相互扶助意識の啓発とともに、子どもは「社会の宝」であるとの見地から、家庭だけでなく地域で子どもを育てる気運を高めることが求められているため、生涯学習をはじめとした各種取組がさらに身近になるように情報提供に努め、環境の整備を関係課等と連携して進めていく。

■平成28年度 of 取組概要

・生活支援コーディネーターの活動を通し地域座談会を開催し、地域住民と共に地域の課題の振り返りと共有化を目指した。自助、共助による解決方法を模索する過程も織り込み相互扶助の意識啓発に努めた。

■評価（問題点とその要因）

・座談会の出席者という限られた対象者の取り組みに終わっており、課題抽出の段階である。

■今後の取組方針

・抽出された課題について地域内でさらに討議し、集いの場づくりや有償ボランティアの育成など、助け合いの仕組みづくりへと発展させるため取り組んでいく。

○バリアフリーなどのユニバーサルデザインのまちづくり推進

■平成27年度における課題等に対する取組方針

・高齢者等が現在の歩行能力を活かし、かつ安心・安全な生活支援のために「歩行支援のための手摺設置事業」は、生活に直結する事業であり、今後も継続すべきと考える。一方、介護保険制度の住宅改修事業との区別化する制度運用が今後とも必要である。

■平成28年度 of 取組概要

・自治会等からの要望を受け、集落内道路における歩行支援のための設置基準に照らし、上五島地区1箇所、奈良尾地区1箇所の手摺を設置した。

■評価（問題点とその要因）

・個人を対象とした介護保険の住宅改修と区別化し、地区（自治会）が管理する公共物である判断として設置し、設置後は良好な管理をお願いしている。人口が減少し、独居の高齢者が増加している集落の変化の中、本制度の周知と実情に即した効果的な設置が望まれる。

	■今後の取組方針 ・高齢者等が現在の歩行能力を活かし、自立した生活を支援する「歩行支援のための手摺設置事業」は、生活に直結する社会資本整備の事業であり、今後も継続していく。一方、介護保険制度の住宅改修事業等と区別した制度趣旨に沿った運用が必要であり、事業効果を高めるため、制度の周知も含め、自治会、福祉サービス提供者、介護保険担当者等との情報共有を深めていく。 ○要援護者などを災害発生時に地域住民と連携した避難誘導が可能となるような地域における支援体制の確立 ■平成27年度における課題等に対する取組方針 ・高齢者のみの地域も存在することから、支援者のいない避難行動要支援者に対する支援について、民生委員・児童委員及び郷長・区長・駐在員に加えて、消防団、社会福祉協議会にも協力を求め、避難支援者の配置に努める。 ■平成28年度 of 取組概要 ・本町防災計画に基づく避難行動要支援者避難支援プランを策定し、民生委員・児童委員協議会定例会や駐在員会議において当該プランの説明を行い避難支援についての協力を求めた。また、当該プランに基づく避難行動要支援者名簿への登録について、対象者への郵送、或いは広報誌、世帯回覧により周知を行うことで同意を求め、新たに同意を得た者のみを掲載した名簿を民生委員・児童委員及び郷長・区長・駐在員に提供した。 ■評価（問題点とその要因） ・避難行動要支援者に対する支援については、避難行動要支援者避難支援プランの普及と自治会へ避難行動要支援者名簿を提供しているが、高齢化により支援者を確保しにくい状況にある。 ■今後の取組方針 ・高齢者のみの地域も存在することから、支援者のいない避難行動要支援者に対する支援について、民生委員・児童委員及び郷長・区長・駐在員に加えて、消防団、社会福祉協議会にも協力を求め、避難支援者の配置に努める。
	2 次評価 ・引き続き、関係機関等と連携し、地域包括ケアシステム構築に向け、高齢者の生活支援、健康維持と積極的な社会参加の支援、介護サービスの充実など、地域全体で高齢者を支援する活動を展開しながら福祉環境の充実に努めていくこと。

成果指標等の達成状況

指標名		基準値	H27	H28	H29	H30	H31
しんかみごとう地域福祉計画策定・見直し	目標	-	-	-	-	第3次計画策定	-
	実績	平成25年度策定	策定会議 H28.2.9 開催	策定会議 H29.3.27 開催	-	-	-
	達成率	-	実績値なし	-	-	-	-
老人福祉計画及び第6期介護保険事業計画策定・見直し	目標	計画策定 進捗検証	第6期計画 進捗検証	第6期計画 進捗検証	第7期計画 策定	第7期計画 進捗検証	第7期計画 進捗検証
	実績	平成26年度策定	H27.6.24 開催	H29.1.10 H29.3.3	-	-	-
	達成率	-	実績値なし	実績値なし	-	-	-
障がい者計画及び障がい者福祉計画策定・見直し	目標	-	-	第2期及び 第4期計画 進捗検証	第3期及び 第5期計画 策定	-	-
	実績	平成26年度策定	-	H28.10.11 H29.3.23	-	-	-
	達成率	-	実績値なし	-	-	-	-

施策事業の進捗状況

1-2-2-① 安心できる地域福祉の環境づくり

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
1	（事業名） 新上五島町買い物支援事業 【福祉長寿課】 （事業目的） 高齢者等の日常生活の支援策として、食品・日用品の買い物などで手助けを必要としている高齢者等を対象に、登録事業所による商品の配達を行うことによって、高齢者への利便性の向上を図り、また訪問の際に声をかけるなどの見守りを行うことで、安否確認にも寄与する。 （事業概要） 電話また訪問によって、登録者から配達事業者が食料品、日用品を受注し、その商品を自宅まで届け、商品受領のサインの記入・印鑑押印を行う。併せて商品の受領時に安否確認を行う。	実施年度	平成24年度～	
		成果指標	登録者	
		目標値	200名	200名
		実績値	218名	214名
		達成率	109%	107%
		決算（見込）額	252千円	618千円
		成果指標及び目標値の説明	登録者…自宅から出て買い物に行くことが困難な高齢者等、いわゆる買い物弱者を「登録者」という。 200名（目標値）…成果指標に掲げた登録者数。	
取組実績、成果・課題等	（取組実績） 目標は達成できている。	（取組実績） 目標は達成できている。 登録者の確認を再度行った結果、4名の減となった。		
	（成果・課題等） 目標は達成できているものの、今後も対象となる高齢者の利用拡大に向けて取り組む必要がある。	（成果・課題等） 目標は達成できているものの、施設入居者等の確認を再度行った。その結果4名の減となった。 町広報誌などでPRを行ったが、まだまだ十分とはいいがた		
2	（事業名） 榎津生活館改修事業 【福祉長寿課】 （事業目的） 榎津地区生活館は、新上五島町地域防災計画において、自主避難時指定避難場所として指定されており、榎津地区の重要な避難施設として活用されているが、平成5年12月15日の竣工から22年が経過し、施設のいたるところに老朽化が見られ、避難施設としての機能を十分に果たしているとはいえない状況にあることから、改修を行い、地域の安全・安心の確保、地域防災の強化を図る。 （事業概要） 安全安心な避難場所の確保と地域防災の強化を図るため、下記の改修等を実施 ・非常用発電機、照明の導入 ・外壁板張り替え及びガス配管等改修 ・一部床板張り替え ・バルコニー床面防水施工、手摺の改修 ・集会室既設照明器具取り替え	実施年度	平成27年度～平成28年度	
		成果指標	事業進捗率（事業費ベース）	
		目標値	-	100%
		実績値	-	100%
		達成率	-	100%
		決算（見込）額	-	7,016千円
		成果指標及び目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。 当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	（取組実績） -	（取組実績） 計画どおり施設改修を実施、避難所機能の強化を図った。 -		
	（成果・課題等） -	（成果・課題等） 本事業の実施により、地域住民の安全安心を向上させることができた。 しかしながら、本体自体は竣工から20年以上が経過しているため、維持補修が必要になってくる。		

1-2-2-① 安心できる地域福祉の環境づくり（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
3	(事業名) 社会福祉協議会補助事業 【福祉長寿課】 (事業目的) 高齢者、障害者、母子家庭等が安心して生活することのできる「福祉のまちづくり」の実現等という社会福祉協議会設置の目的に沿って、取り組まれている各種の福祉事業が、円滑、安定的に実施できるように、その活動費の一部に対し補助金を交付する。 (事業概要) 町民の地域福祉の向上のための広範な活動している社会福祉協議会の法人運営事業等に対し、補助を行った。 (主な事業) ・法人運営費補助 ・心配ごと相談所事業補助 ・地域福祉権利擁護事業	実施年度	平成16年度～	
		成果指標	参加者数	
		目標値	4,360名	4,044名
		実績値	4,044名	3,910名
		達成率	92.8%	96.7%
		決算（見込）額	71,518千円	71,526千円
		成果指標及び目標値の説明	社会福祉協議会が行っている各種の福祉サービスなど様々な活動が円滑にできるよう、以下のサービスの前年度の活動件数を目標値とした 平成27年度実績 4,044名	
4	(事業名) 遺族会補助事業 【福祉長寿課】 (事業目的) 遺族団体に補助を行うことで、町の慰霊祭の交通費助成や慰霊碑の適正な管理及び遺族の相互扶助を促進することを目的とする。 (事業概要) 新上五島町連合遺族会、5地区遺族会が行う戦没者追悼式式典、軍人墓地清掃等の運営事業に対して補助を行う。	実施年度	平成16年度～	
		成果指標	遺族会員数	
		目標値	594名	544名
		実績値	544名	539名
		達成率	91.6%	99.1%
		決算（見込）額	878千円	852千円
		成果指標及び目標値の説明	5つの遺族会の会員数を成果指標としている。前年の会員数を目標値としている。 5地区の会員数 正会員 (4名)→4名、準会員(540名)→535名 ※正会員：戦死者の親、妻 準会員：子などそれ以外	
		取組実績、成果・課題等	(取組実績) 遺族会の活動に対し補助金を交付した。遺族会の弔慰活動等を支援することで、平和の尊さへの再認識が図られた。 (成果・課題等) 遺族会の高齢化が進み、会員ばなれや活動低下を招いているため、会のあり方について、中期的な検討が必要と思われる。	(取組実績) 遺族会の活動に対し補助金を交付した。遺族会の弔慰活動等を支援することで、平和の尊さへの再認識が図られた。 (成果・課題等) 遺族会の高齢化が進み、会員ばなれや活動低下を招いているため、会のあり方について、中期的な検討が必要と思われる。

1-2-2-① 安心できる地域福祉の環境づくり（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
5	（事業名） 民生委員・児童委員協議会補助事業 【福祉長寿課】 （事業目的） 民生委員・児童委員が社会奉仕の精神をもって、常に住民の立場に立って相談に応じ、及び必要な援助を行い、もって社会福祉の増進に努める活動ができるよう、その職務に関して必要な知識及び技術を修得する。 （事業概要） 民生委員・児童委員は、社会奉仕の精神をもって、社会福祉増進のためにあらゆる分野で住民の福祉向上のために協力をいただいている。この活動費の一部について補助金を交付する。なお、平成28年12月1日に一斉改選が行われた。その折、主任児童員定数が10名から5名に減され、定数は、民生委員児童委員88名、主任児童委員5名の93名となった。なお、民生委員児童委員は2名の欠員の状態にある。	実施年度	平成16年度～	
		成果指標	活動件数	
		目標値	61,851件	62,820件
		実績値	62,820件	62,193件
		達成率	101.6%	99.0%
		決算（見込）額	7,610千円	7,560千円
		成果指標及び目標値の説明	民生委員・児童委員協議会（委員数91人）の活動（相談・支援、その他の活動、訪問、連絡調整）件数を成果指標とし、前年度の活動件数を目標値とした。	
6	（事業名） 地域福祉活動補助事業 【福祉長寿課】 （事業目的） 仲知、津和崎地区の乳児から高齢者までが集う場として「青空ふれあいの広場」を開設し、その中で「生きがい活動事業」「つどいの広場事業」を実施し、地域の高齢者福祉及び児童福祉の増進に努め、地域活力の醸成を図る。 （事業概要） 仲知、津和崎地区の乳児から高齢者までが幅広く集う場として福祉増進を図る。 ①つどいの広場事業 ②生きがい活動事業	実施年度	平成19年度～	
		成果指標	利用登録者数	
		目標値	33人	33人
		実績値	33人	32人
		達成率	100%	97%
		決算（見込）額	4,707千円	4,707千円
		成果指標及び目標値の説明	利用登録者数…月曜から金曜までを地域ごとに分けて、利用登録高齢者に生きがい活動事業を実施している。	
		取組実績、成果・課題等	（取組実績） 相談・支援5,504件、その他の活動9,902件、訪問37,588件、連絡調整9,826件の活動を行った。 （成果・課題等） 年々、活動日数は増える傾向にある。一方、過疎・高齢化により、民生委員のなり手不足、委員の高齢化が慢性的にある。	（取組実績） 相談・支援5,351件、その他の活動10,237件、訪問36,142件、連絡調整10,463件の活動を行った。 （成果・課題等） 長期的には活動日数は増える傾向にある。平成28年12月に一斉改選があったが、民生委員のなり手不足、委員の高齢化が慢性的にある。欠員2名
			（取組実績） 地域住民のニーズに沿い、地域の子どもから高齢者を巻き込んだ集いの広場として、月曜から金曜までを地域毎に分けて、地域に定着した福祉活動が展開された。 （成果・課題等） 高齢者を中心としたさまざまな行事が展開されているが、今後に向けた事業の維持存続のために、幅広い関係機関との連携や事業協力が必要となってくる。	（取組実績） 地域住民のニーズに沿い、地域の子どもから高齢者を巻き込んだ集いの広場として、月曜から金曜までを地域毎に分けて、地域に定着した福祉活動が展開された。 （成果・課題等） 乳児から高齢者まで幅広い地区の方が参加しているが、人口減もあって、利用者数は横ばい。これまでにない集客力のある取組が必要とされている。

1-2-2-① 安心できる地域福祉の環境づくり（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
7	（事業名） 奈良尾地域福祉センターしおさい空調設備改修事業 【福祉長寿課】 （事業目的） 老朽化した地域福祉センターの改修を行い、町内の高齢者に対して各種福祉サービスや生きがいづくり等の拠点として地域福祉の向上を図る。 （事業概要） 空調機をマルチ型からセパレート型へ取替え パッケージエアコン 配線工事	実施年度	平成26年度～平成28年度	
		成果指標	事業進捗率（事業費ベース）	
		目標値	100%	100%
		実績値	100%	100%
		達成率	100%	100%
		決算（見込）額	5,595千円	11,398千円
		成果指標及び目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。 当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。	
8	（事業名） 有川地域福祉センターふれあい施設設備改修事業 【福祉長寿課】 （事業目的） 老朽化した有川地域福祉センターの改修を行い、町内の高齢者に対して各種福祉サービスや生きがいづくり等の拠点として地域福祉の向上を図る。 （事業概要） 真空式温水ボイラーを取替える 真空式温水ボイラー1基 配管工事1式 厨房スポットエアコン1台	実施年度	平成28年度	
		成果指標	事業進捗率（事業費ベース）	
		目標値	-	100%
		実績値	-	100%
		達成率	-	100%
		決算（見込）額	-	6,491千円
		成果指標及び目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。 当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。	
		取組実績、成果・課題等	（取組実績） 計画どおり5台の空調機を取替えを行った。 （成果・課題等） 建設から20年以上が経過しているため、今後も大規模な改修が必要になってくる。	（取組実績） 計画どおり13台の空調機を取替えを行った。 （成果・課題等） 平成26年度から28年度の3カ年計画で改修工事を行い、計画どおり終了した。建設から20年以上が経過しているため、今後も大規模な改修が必要になってくる。
		取組実績、成果・課題等	（取組実績） 計画どおり真空式温水ボイラー1基、厨房スポットエアコン1台の取替を行った。 （成果・課題等） 建設から20年以上が経過しているため、今後も大規模な改修が必要になってくる。	（取組実績） 計画どおり真空式温水ボイラー1基、厨房スポットエアコン1台の取替を行った。 （成果・課題等） 建設から20年以上が経過しているため、今後も大規模な改修が必要になってくる。

1-2-2-① 安心できる地域福祉の環境づくり（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
9	（事業名） 高齢者生活福祉センターやすらぎの里ナースコール改修事業 【福祉長寿課】 （事業目的） 老朽化した新魚目高齢者生活福祉センターの改修を行い、町内の高齢者に対して各種福祉サービスや生きがいづくり等の拠点として地域福祉の向上を図る。 （事業概要） 各居室に設置してあるナースコールを取替える ナースコール親機2台 ハンド型子機20個 呼出ボタン35個	実施年度	平成28年度	
		成果指標	事業進捗率（事業費ベース）	
		目標値	-	100%
		実績値	-	100%
		達成率	-	100%
		決算（見込）額	-	5,020千円
		成果指標及び目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。 当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。	
		取組実績、成果・課題等	（取組実績） - （成果・課題等）	（取組実績） 計画どおりナースコールの取替を行った。 - （成果・課題等） 建設から15年以上が経過しているため、今後も大規模な改修が必要になってくる。